

## 第 1 8 在宅医療等推進事業

## 1 地域連携クリティカルパス推進事業

医療機関から在宅に安心して戻れる切れ目のない医療を提供するために、医療機関の機能分担と連携を図るツールとして地域連携パスについて運用を進めています。

当圏域では、平成25年度から脳卒中県内統一パス様式で運用を開始し、急性期回復期連携会議にて運用状況や課題の共有を図っています。

急性期病院と回復期リハビリ病棟病院定例会（主催：計画病院）

開催日：令和元年6月18日（火）午後2時～午後3時

令和元年11月29日（金）午後2時～午後3時

令和2年2月18日（火）午後2時～午後3時30分

内 容：脳卒中地域連携パス（患者用）等の用紙・運用について課題や意見交換パスの周知について

参加者：高島市民病院・今津病院・マキノ病院関係者、高島保健所担当者

## 2 在宅ホスピスケア推進事業

高島地域医療福祉ビジョン（平成24年2月策定）に基づき、医療福祉を推進する高島地域協議会設置し事業を実施。平成27年度から高島市において「高島市在宅ケア推進会議」を核とした体制が確立されたことにより、高島市や高島市医師会が主体で行う在宅医療介護連携従事者研修会への参画、共同実施により在宅医療、看取り体制の構築に努めました。

在宅医療多職種連携セミナー

（高島市医師会、高島市主催

高島市医療連携ネットワーク運営協議会共催）

開催日：令和2年2月15日（土）午後2時～午後4時30分

場 所：安曇川公民館ふじのきホール

内 容：研修会

講 演：「アドバンスケアプランニング（人生会議）とは」

～本人・家族・多職種で本人の望む暮らしの未来像を共有しよう～

講 師：滋賀県立総合病院 循環器内科副部長 犬塚 康孝 氏

実践報告

報告者：ケアプランセンター井口 井口ちづる 氏

あいりん訪問看護ステーション 筒井可那子 氏

グループホームはあとふる朽木 島本 浩恵 氏

参加者：70人

## 3 入退院支援ルール評価検討事業

病院での治療から在宅療養へのスムーズな連携を図ることにより、機能維持向上と患者や家族が安心できる療養環境を早期に整備できる体制を構築する必要があることから、入退院支援を行う際の共通ルール「湖西圏域における病院とケアマネジャーの入退院支援の手引き」（平成28年3月を作成）を活用し、病院と在宅関係者との円滑な連携の推進に努めました。

## 事業内容

### (1) 実態調査

介護支援専門員への病院との連携に関する調査の実施

対 象:管内居宅介護支援事業所および小規模多機能事業所、地域包括支援センターに所属する介護支援専門員等

方 法:アンケートを郵送により送付、FAXにて回答

時 期:令和元年7月1日～8月2日

回収率:92.1%(ケアマネ回答率)

### (2) 会議

入退院支援ルール評価検討会議

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止し、出席予定者に会議資料を送付した。

目 的:病院と在宅における連携の現状評価と入退院支援を行う際の共通ルール等の検討を行い、病院と在宅の円滑な連携を推進する

開催日:令和2年3月6日(金) 午前10時～11時

場 所:高島保健所 2階 大会議室

内 容:・令和元年度事業および令和2年度事業計画について

・病院と介護支援専門員の連携に関するアンケート調査結果について

・フィードバックカンファレンスの必要性について

・退院支援における連携課題と必要な取り組みについて情報交換

出席者:管内病院看護部長・病棟師長・地域連携室関係者、湖西介護支援専門員連絡協議会長、高島市地域包括支援センター職員等

### (3) 研修会

入退院支援にかかる病院・介護支援専門員合同研修会(実務編)

開催日:令和元年8月27日(火)午後4時30分～午後6時

場 所:今津病院 2階 大会議室

内 容:・退院時情報提供書を活用しての評価 アンケート結果

高島市民病院 地域医療連携室 末武美里 氏

・入院時情報提供書及び、退院に向けてのききとりシートのバージョンアップについて

湖西介護支援専門員連絡協議会 澤田悦子氏

・在宅から入院、入院から退院後までの流れを知ろう(事例を通して)

高島市民病院 入退院支援室 北野栄美子 氏

高島市社会福祉協議会きらり高島 山崎瑞枝 氏

・グループワーク「入退院支援調整をうまく連携するには」

参加者:40人 病院看護師、社会福祉士、介護支援専門員、行政関係者等